

第4期越谷市障がい福祉計画・第4次越谷市障がい者計画の 策定に係るアンケート調査の概要

1 根拠・目的

障害者総合支援法第88条第5項では、「市町村は、当該市町村の区域における障害者等の心身の状況、その置かれている環境その他の事情を正確に把握した上で、これらの事情を勘案して、市町村障害福祉計画を作成するよう努めるものとする。」としている。

また、障害者基本法第10条第2項では、「国及び地方公共団体は、障害者の自立及び社会参加の支援等のための施策を講ずるに当たっては、障害者その他の関係者の意見を聞き、その意見を尊重するよう努めなければならない。」としている。

これらを踏まえ、第4期越谷市障がい福祉計画、第4次越谷市障がい者計画の策定に係る基礎資料とするため、アンケート調査を実施する。

2 対象・実施方法

以下の分類により、アンケート調査を実施する。なお、調査内容は分類ごとの特性に応じたものとする。(カッコ内)は調査の実施方法

- | | |
|---------------|-----------------|
| ① 身体障がい者 | (郵送配布) |
| ② 知的障がい者 | (郵送配布) |
| ③ 精神障がい者 | (団体、事業所等を通して配布) |
| ④ 難病患者 | (団体を通して配布) |
| ⑤ 高次脳機能障がい者 | (団体を通して配布※) |
| ⑥ 発達障がい者 | (団体を通して配布※) |
| ⑦ その他市民 | (郵送配布) |
| ⑧ 障害福祉サービス事業所 | (郵送配布) |

※⑤高次脳機能障がい者、⑥発達障がい者については、配布を依頼する団体等を検討中。

3 抽出方法

個人宛に郵送配布を行う①身体障がい者、②知的障がい者、⑦その他市民については無作為抽出を行う。①身体障がい者、②知的障がい者については、障害福祉サービスを利用している人・利用していない人を分けて対象者の抽出を行う。これにより、障害福祉サービスを利用している人・利用していない人の意見をそれぞれ得られるようにする。

4 設問

設問内容については、別紙「第4期越谷市障がい福祉計画・第4次越谷市障がい者計画の策定に係るアンケート調査 設問（案）一覧」参照。

※ 資料の見方（左列より）

- (1) 大項目、小項目 設問（大項目が設問テーマ、小項目が個別の設問）
- (2) 身体～その他市民 調査の対象ごとの設問の有無を記載
 - ※事業所を対象とした設問については、他の対象と重複する設問がないため、別の表に記載。
 - (ア) ○ 平成22年度の調査に引き続き設問あり
 - (イ) ー 平成22年度の調査に引き続き設問なし
 - (ウ) ◎ 平成22年度の調査では他の対象にしかなかったが設問を追加したもの
 - (エ) ☆ 平成22年度の調査にはなく、新たに追加したもの（表の網掛け部分が新たに追加した設問）
 - (オ) × 平成22年度の調査では設問があったが、今回削除したもの
- (3) 委員意見
 - ・ 障害者施策推進協議会及びその後の意見募集
 - ・ 障害者地域自立支援協議会及びその後の意見募集
 - ・ 庁内策定委員会 においてあがった意見を記載
- (4) 備考欄 委員意見に対する市の考え方や、根拠となる法律名等
- (5) 選択肢 設問に対する選択肢

○: 質問する項目
 ー: 質問しない項目
 ◎: 今回のアンケートから質問する項目
 ☆(網掛け): 今回のアンケートから質問する項目で設問自体を新たに作成した項目
 ×: 前回のアンケートから削除した項目

大項目	番号	小項目	身体	知的	精神	難病	発達障害	高次脳機能障害	その他市民	委員意見	備考	選択肢
あなた(宛名のご本人)のごことについて、うかがいます。	1	あなたの性別と年齢をお答えください。 1性別(1つに○印) 2年齢(平成26年4月1日現在)	○	○	○	○	◎	◎	○			1. 男性 1. 20歳未満 5. 50~59歳 2. 女性 2. 20~29歳 6. 60~64歳 3. 30~39歳 7. 65歳以上 4. 40~49歳
	2	あなたの身体障害者手帳の等級をお答えください。(1つに○印)	○	ー	ー	○	ー	ー	ー			1. 1級 5. 5級 2. 2級 6. 6級 3. 3級 7. 持っていない 4. 4級
	3	あなたの療育手帳(みどりの手帳)の程度は次のうちどれですか。(1つに○印)	ー	○	ー	ー	ー	ー	ー			1. OA(最重度) 2. A(重度) 3. B(中度) 4. C(軽度)
	4	手帳を持っている場合、あなたの精神障害者保健福祉手帳の等級をお答えください。(1つに○印)	ー	ー	○	ー	◎	◎	ー			1. 1級 2. 2級 3. 3級
	5	あなたの障がいの部位(場所)はどこですか。障がい複数ある場合は、主なもの3つまでに○印(最も重いものには◎印)をつけてください。	○	ー	ー	ー	ー	ー	ー			1. 視覚 3. 音声・言語・そしゃく機能 5. 肢体不自由(下肢) 2. 聴覚・平衡機能 4. 肢体不自由(上肢) など14項目
	6	あなたの病名や障がいの状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○印)	ー	ー	○	ー	ー	ー	ー			1. 統合失調症 2. 気分障がい(そううつ病など) 3. 非定型精神病 4. 人格障がい 5. てんかん など11項目
	7	あなたは、療育手帳(みどりの手帳)や精神障害者保健福祉手帳(水色)もお持ちですか。持っていれば障がいの程度もお答えください。(療育手帳は、知的障がいのある方に交付される手帳です。)(あてはまるものすべてに○印)	○	ー	ー	◎	ー	ー	ー			療育手帳 1. OA(最重度) 2. A(重度) 3. B(中度) 4. C(軽度) 5. 持っていない 精神障害者保健福祉手帳 1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 持っていない
	8	あなたは、身体障害者手帳や精神障害者保健福祉手帳(水色)もお持ちですか。持っていれば障がいの程度もお答えください。(あてはまるものすべてに○印)	ー	○	ー	ー	ー	ー	ー			身体障害者手帳 1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 4級 5. 5級 6. 6級 7. 持っていない 精神障害者保健福祉手帳 1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 持っていない
	9	あなたは、身体障害者手帳や療育手帳(みどり色)もお持ちですか。持っていれば障がいの程度もお答えください。(療育手帳は、知的障がいのある方に交付される手帳です。)	ー	ー	○	ー	◎	◎	ー			身体障害者手帳 1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 4級 5. 5級 6. 6級 7. 持っていない 療育手帳 1. OA(最重度) 2. A(重度) 3. B(中度) 4. C(軽度) 5. 持っていない

大項目	番号	小項目	身体	知的	精神	難病	発達障害	高次脳機能障害	その他市民	委員意見	備考	選択肢
あなた(宛名のご本人)のことについて、うかがいます。	10	年齢が40歳以上の方にうかがいます。あなたは介護保険の認定を受けていますか。(1つに○印)	○	○	○	○	◎	◎	—			1. 受けている 2. 受けていない
	11	あなたの病名(障がいの状況)はどれですか。(あてはまるものすべてに○印)	—	—	—	○	◎	◎	—			選択肢は難病・発達障害・高次脳機能障害でそれぞれ用意
	12	この病気になった(病気を知った)時期はいつですか。(一番古いものをご記入下さい)	—	—	—	○	◎	◎	—			1. 0～4歳 2. 5～9歳 3. 10～14歳 4. 15～20歳 5. 20～29歳 6. 30～39歳 7. 40～49歳 8. 50～59歳 9. 60歳以上
	13	あなたの職業についてお答えください。(1つに○印)	—	—	—	—	—	—	○	全ての人に聞いたほうがいいのではないか(施策推進協議会委員)	障がい者に対しては設問番号52に類似の設問がある	1. 農業 2. 自営業(商店・工場・事務所など) 3. 会社員・公務員など 4. パート・アルバイト 5. 内職 6. 学生 7. 家事専従(主婦・主夫) 8. 無職 9. その他()
	14	あなたの家族は何人ですか。(1つに○印)	—	—	—	—	—	—	○			1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人 6. 6人 7. 7人以上
	15	越谷市に住まれて何年になりますか。(1つに○印)	—	—	—	—	—	—	○			1. 1年未満 2. 1～3年未満 3. 3～5年未満 4. 5～10年未満 5. 10～15年未満 6. 15～20年未満 7. 20年以上
	16	家族の中に障がいや病気のある方がいますか。(1つに○印)	—	—	—	—	—	—	○			1. いる 2. いない
あなたの生活について、うかがいます。	17	あなたの現在のお住まい(生活の場)はどこですか。(1つに○印)	○	○	○	○	◎	◎	—			1. 持ち家(一戸建て) 2. 持ち家(マンション) 3. 民間借家(アパート、マンションを含む) 4. 市営住宅・県営住宅 5. 公団・公社の賃貸住宅 6. 社宅・会社の寮 7. グループホーム・生活ホーム・その他の福祉施設 8. その他()
	18	あなたは、誰と一緒に生活していますか。(あてはまるものすべてに○印)	○	○	○	○	◎	◎	—			1. 配偶者(妻・夫) 2. 子ども 3. 子どもの配偶者 4. 父 5. 母 6. 祖父母 7. 兄弟・姉妹 8. その他の親族 9. 友人など家族以外の人 10. 寮や施設の職員・仲間 11. ひとり暮らし 12. その他()

大項目	番号	小項目	身体	知的	精神	難病	発達障害	高次脳機能障害	その他市民	委員意見	備考	選択肢
あなたの生活について、うかがいます。	19	あなたの世帯の収入源は何ですか。(3つまでに○印)	○	○	○	○	◎	◎	—			1. あなたご自身の給与・賃金 2. あなた以外の家族の給与・賃金 3. 事業収入(自営業や農業などの収入) 4. 財産収入(利子や家賃などの収入) 5. 年金 6. 手当 7. 生活保護 8. 仕送り 9. その他()
	20	あなたは、現在の生活で困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○印)	○	○	○	○	◎	◎	—			1. 身の回りの世話や介助をしてくれる人がいない 2. 自立するための住宅(持ち家、借家など)がない 3. 福祉施設の定員がいっぱいに入所できない 4. 障がいのない人と一緒に教育機関(幼稚園、小・中・高校、大学、専門学校など)に通えない など19項目
介助の状況について、うかがいます。	21	あなたは、次のような日常生活場面での程度の介助が必要ですか。 ①～⑩それぞれについて、あてはまるもの1つに○印をつけてください。	○	○	◎	○	◎	◎	—	精神の中にも介助の対象者がいる(施策推進協議会委員)	精神の設問に加える	<介助の程度> 1. ひとりでできる(補装具などの使用含む) 2. 少し手伝ってもらおう 3. ほとんど手伝ってもらおう <日常生活場面> ①食 事 ②着替え ③トイレ ④入 浴 ⑤寝返り ⑥家の中の移動 ⑦食事の支度や片づけ ⑧身の回りの掃除・洗濯 ⑨服薬管理 ⑩人とのコミュニケーション
	22	問■で、1つでも「2. 少し手伝ってもらおう」、「3. ほとんど手伝ってもらおう」とお答えの方にうかがいます。あなたの主な介助者は誰ですか。(1つに○印)	○	○	◎	○	◎	◎	—	精神の中にも介助の対象者がいる(施策推進協議会委員)	精神の設問に加える	1. 配偶者(妻・夫) 2. 子ども 3. 子どもの配偶者 4. 父 5. 母 6. 祖父母 7. 兄弟・姉妹 8. その他の親族 9. ホームヘルパー 10. 家政婦 11. 友人・知人 12. ボランティア 13. 施設・寮の職員 14. 近所の人 15. その他()
	23	お住まいで、現在のあなたや介助者のために改築したいと思うところがありますか。(あてはまるものすべてに○印)	○	—	—	—	—	—	—	—		

大項目	番号	小項目	身体	知的	精神	難病	発達障害	高次脳機能障害	その他市民	委員意見	備考	選択肢	
介助の状況について、うかがいます。	24	問■で「1～8」のいずれかをお答えの方にかかっています。実際に改築をすることができますか。(あてはまるものすべてに○印)	○	—	—	—	—	—	—			1. できる 2. 家が老朽化しているののでできない 3. 家の構造上できない 4. 資金がないののでできない 5. 借家・アパートなのでできない 6. 相談にのってくれる人(所)がわからないののでできない 7. その他()	
健康状態や保健・医療について、うかがいます。	25	あなたの現在の健康状態は、次のどれにあたりますか。(1つに○印)	○	○	◎	◎	◎	◎	—		精神・難病の設問に加える	1. 良好 2. 病気がち 3. 通院中 4. 寝たきり 5. 入院中	
	26	機能回復や機能維持のためのリハビリを受けていますか。(1つに○印)	○	◎	◎	◎	◎	◎	—	リハビリは身体障がい以外でもある(自立支援協議会委員)	知的・精神・難病の設問に加える	1. 受けている 2. 受けていない	
	27	問■で「1. 受けている」とお答えの方にかかっています。どちらの機関をお使いですか。(あてはまるものすべてに○印)	○	◎	◎	◎	◎	◎	—	リハビリは身体障がい以外でもある(自立支援協議会委員)	知的・精神・難病の設問に加える	1. 病院・診療所(医院・クリニック等)・リハビリ医療専門施設 2. 保健センター 3. 障害者福祉センター「こばと館」や障がい者(児)のための入所・通所施設 4. 老人保健施設や高齢者のデイサービスセンターなどの通所施設 5. 特別支援学校 6. 民間団体、サークル 7. 自宅 8. その他()	
	28	問■で「2. 受けていない」とお答えの方にかかっています。受けていない理由は何ですか。具体的にお書きください。	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	リハビリは身体障がい以外でもある(自立支援協議会委員)	知的・精神・難病の設問に加える	自由記入 (例:今はリハビリの必要がない、リハビリ機関が遠いため、など)
	29	受診するにあたって、お困りのことがありますか。(あてはまるものすべてに○印)	○	○	○	○	◎	◎	◎	—			1. 専門的な治療を行ってくれる医療機関が身近にない 2. 通院するときに付き添いをしてくれる人がいない 3. 往診を頼める医師がいない 4. 歯科診療を受けにくい 5. 定期的に健康診断を受けられない 6. 障がいのため症状が正確に伝わらず、必要な治療が受けられない 7. 受診手続きや案内などの障がい者への配慮が不十分 8. その他() 9. 特に困ったことはない
	30	あなたは、精神疾患に関して過去1年間にどのくらい受診しましたか(1つに○印)	—	—	○	—	◎	◎	—			1. 年に数回ぐらいかかった 2. 月に1、2回ぐらいかかった 3. 週に1、2回ぐらいかかった 4. 週に3、4回ぐらいかかった 5. かかっていない 6. その他()	

大項目	番号	小項目	身体	知的	精神	難病	発達障害	高次脳機能障害	その他市民	委員意見	備考	選択肢	
福祉サービスについて、うかがいます。	31	施設サービス(旧体系)について、あてはまる利用状況と満足度に○印をつけてください。	×	×	×	—	—	—	—		旧体系についての設問のため削除	<利用状況> 現在利用している 利用したことがある 利用したことがない 知らない <満足度> 満足 どちらともいえない 不満 <サービスの名称(サービスの内容)> ①重症心身障害児施設(重症心身障がい児等に必要な治療や生活指導を行う) ②療護施設(医学的な管理のもと、必要な介護・治療を行う) ③更生施設(日常生活に必要な訓練を行う) ④授産施設(就労に必要な訓練、生活指導を行う)	
	32	障害程度区分(平成26年4月1日以降は障害支援区分)の認定を受けたことがありますか。ある場合には、区分にも○をつけてください。(1つに○印)	☆	☆	☆	☆	☆	☆	—			1. ある → 区分1 区分2 区分3 区分4 区分5 区分6 非該当 申請中 2. なし	
	33	訪問系サービスについて、あてはまる利用状況と満足度に○印をつけてください。(ホームヘルプサービスなど、自宅で日常生活を支援するサービス)	○	○	○	◎	◎	◎	—			難病の設問に加える 選択肢(サービスの名称)について ショートステイを削除 行動援護追加 同行援護追加	<利用状況> 現在利用している 利用したことがある 利用したことがない 知らない <満足度> 満足 どちらともいえない 不満 <サービスの名称(サービスの内容)> ①居宅介護 ②重度訪問介護 ③重度障害者等包括支援 ④行動援護 ⑤同行援護
	34	問■で利用していると答えた方にうかがいます。改善すべき点があればお答えください。	☆	☆	☆	☆	☆	☆	—	サービスを利用しない理由を聞いてほしい(策定委員会委員意見)	サービスを利用していない理由を質問に加えることに併せて改善点についても設問に加える	1 利用者負担額が高い。 2 利用時間が短い。 3 利用したいときに利用できない。 4 その他()	
	35	問■で利用していないと答えた方にうかがいます。利用していない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○印をつけてください。)	☆	☆	☆	☆	☆	☆	—	サービスを利用しない理由を聞いてほしい(策定委員会委員意見)	サービスを利用していない理由について設問に加える	1 サービスの対象外である。 2 利用したいと思わない。 3 利用することに抵抗がある。 4 利用方法が分からない。 5 サービスがあることを知らなかった。 6 利用者負担額が高い。 7 利用したいときに利用できない。 8 その他()	

大項目	番号	小項目	身体	知的	精神	難病	発達障害	高次脳機能障害	その他市民	委員意見	備考	選択肢
福祉サービスについて、 うかがいます。	36	日中活動系サービスについて、あてはまる利用状況と満足度に○印をつけてください。(施設において、日中に、訓練や創作活動、生産活動など社会的活動を支援したり、就労への訓練や働く場の提供、能力向上のための訓練を行うサービス)	○	○	○	◎	◎	◎	—		難病の設問に加える 選択肢(サービスの名称)について ショートステイを追加	<利用状況> 現在利用している 利用したことがある 利用したことがない 知らない <満足度> 満足 どちらともいえない 不満 <サービスの名称(サービスの内容)> ①生活介護 ②自立訓練 ③就労移行支援 ④就労継続支援A型 ⑤就労継続支援B型 ⑥療養介護 ⑦児童デイサービス ⑧地域活動支援センター ⑨地域デイケア施設 ⑩ショートステイ
	37	問■で利用していると答えた方にうかがいます。改善すべき点はありますかお答えください。	☆	☆	☆	☆	☆	☆	—	サービスを利用しない理由を聞いてほしい (策定委員会委員意見)	サービスを利用していない理由を質問に加えることに併せて改善点についても設問に加える	1 利用者負担額が高い。 2 利用時間が短い。 3 利用したいときに利用できない。 4 その他()
	38	問■で利用していないと答えた方にうかがいます。利用していない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○印をつけてください。)	☆	☆	☆	☆	☆	☆	—	サービスを利用しない理由を聞いてほしい (策定委員会委員意見)	サービスを利用していない理由について設問に加える	1 サービスの対象外である。 2 利用したいと思わない。 3 利用することに抵抗がある。 4 利用方法が分からない。 5 サービスがあることを知らなかった。 6 利用者負担額が高い。 7 利用したいときに利用できない。 8 その他()
	39	施設等での居住系サービスについて、あてはまる利用状況と満足度に○印をつけてください。(夜間、施設やグループホームで提供するサービス)	○	○	○	◎	◎	◎	—		難病の設問に加える	<利用状況> 現在利用している 利用したことがある 利用したことがない 知らない <満足度> 満足 どちらともいえない 不満 <サービスの名称(サービスの内容)> ①グループホーム(援助を受けながら少人数で共同生活を行う) ②施設入所支援(施設に入所している方に、夜間や休日、入浴・排泄・食事の介護等を行う) ③生活ホーム(生活全般、社会参加に必要な指導・援助を行う)
	40	問■で利用していると答えた方にうかがいます。改善すべき点はありますかお答えください。	☆	☆	☆	☆	☆	☆	—	サービスを利用しない理由を聞いてほしい (策定委員会委員意見)	サービスを利用していない理由を質問に加えることに併せて改善点についても設問に加える	1 利用者負担額が高い。 2 利用時間が短い。 3 利用したいときに利用できない。 4 その他()

大項目	番号	小項目	身体	知的	精神	難病	発達障害	高次脳機能障害	その他市民	委員意見	備考	選択肢
福祉サービスについて、うかがいます。	41	問■で利用していないと答えた方にうかがいます。利用していない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○印をつけてください。)	☆	☆	☆	☆	☆	☆	—	サービスを利用しない理由を聞いてほしい (策定委員会委員意見)	サービスを利用していない理由について設問に加える	1 サービスの対象外である。 2 利用したいと思わない。 3 利用することに抵抗がある。 4 利用方法が分からない。 5 サービスがあることを知らなかった。 6 利用者負担額が高い。 7 利用したいときに利用できない。 8 その他()
	42	その他在宅サービスについて、あてはまる利用状況と満足度に○印をつけてください。	○	○	○	◎	◎	◎	—		難病の設問に加える	<利用状況> 現在利用している 利用したことがある 利用したことがない 知らない <満足度> 満足 どちらともいえない 不満 <サービスの名称(サービスの内容)> ①相談支援 ②コミュニケーション支援事業 ③日常生活用具の給付 ④移動支援事業 ⑤全身性障がい者介護人派遣事業 ⑥移動入浴サービス ⑦就労支援センター
	43	問■で利用していると答えた方にうかがいます。改善すべき点があればお答えください。	☆	☆	☆	☆	☆	☆	—	サービスを利用しない理由を聞いてほしい (策定委員会委員意見)	サービスを利用していない理由を質問に加えることに併せて改善点についても設問に加える	1 利用者負担額が高い。 2 利用時間が短い。 3 利用したいときに利用できない。 4 その他()
	44	問■で利用していないと答えた方にうかがいます。利用していない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○印をつけてください。)	☆	☆	☆	☆	☆	☆	—	サービスを利用しない理由を聞いてほしい (策定委員会委員意見)	サービスを利用していない理由について設問に加える	1 サービスの対象外である。 2 利用したいと思わない。 3 利用することに抵抗がある。 4 利用方法が分からない。 5 サービスがあることを知らなかった。 6 利用者負担額が高い。 7 利用したいときに利用できない。 8 その他()
	45	あなたは、施設に苦情を言ったり、相談をしたりすることができますか。(1つに○印)	○	○	○	◎	◎	◎	—		難病の設問に加える	1. 気軽にすることができる 2. 利用者の立場上、遠慮してしまう 3. その他()
	46	次の福祉サービスについて、あてはまる利用状況と満足度に○印をつけてください。	—	—	—	×	—	—	—		設問削除 (障害福祉サービス関連の設問に統合 難病患者も障害福祉サービスを利用可能になったため)	<利用状況> 現在利用している 利用したことがある 利用したことがない 知らない <満足度> 満足 どちらともいえない 不満 <現在、実施されている福祉サービス> ①ホームヘルプサービス ②ショートステイ ③日常生活用具の給付 ④就労支援センター

大項目	番号	小項目	身体	知的	精神	難病	発達障害	高次脳機能障害	その他市民	委員意見	備考	選択肢
就学について、うかがいます。	47	現在、就学されている方にうかがいます。あなたの就学状況は次のうち、どれですか。(1つに○印)	○	○	○	○	◎	◎	—			1. 幼稚園・保育所(園)・通園施設 2. 小・中学校・高等学校 3. 特別支援学校 4. 大学・専門学校 5. その他()
	48	通園・通学していて、特に困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○印)	○	○	◎	○	◎	◎	—	精神にも質問したほうがいいのではないか(施策推進協議会委員)	精神の設問に加える	1. 交通手段が不便である 2. トイレなどの設備が障がいに配慮されていない 3. 学校内・園内での介助が十分でない 4. 周囲の教員や生徒たちの理解が得られない 5. 受け入れてくれる学校が少ない 6. 普通学級に入れない 7. 特にない 8. その他()
	49	あなたは、現在の学校などを卒業した後の進路をどのように考えていますか。(1つに○印)	○	○	○	○	◎	◎	—	精神にも質問したほうがいいのではないか(施策推進協議会委員)	精神の設問に加える	あなたは、現在の学校などを卒業した後の進路をどのように考えていますか。(1つに○印) 1. 小・中・高等学校・大学・専門学校に進学したい 2. 特別支援学級・特別支援学校に進学したい 3. 入所施設などに入りたい 4. 通所施設などに通いたい 5. 正規社員・職員として勤めに出たい 6. パート・アルバイトとして勤めに出たい 7. 自営業など、自分で仕事を始めたい 8. 在宅勤務・内職など、自宅でできる仕事をしたい 9. 福祉施設職員として働きたい 10. わからない・まだ決めていない 11. その他()
	50	あなたは、義務教育修了後の進路をどのように考えていますか。(1つに○印)	—	—	×	—	—	—	—		類似の設問があり、まとめるため削除する	1. 高等学校・大学・専門学校に進学したい 2. 施設などに入所したい 3. 施設(就労移行支援、就労継続支援B型等)などに通所したい 4. 正規社員・職員として勤めに出たい 5. パート・アルバイトとして勤めに出たい 6. 自営業など、自分で仕事を始めたい 7. 在宅勤務・内職など、自宅でできる仕事をしたい 8. 福祉施設職員として働きたい 9. わからない・まだ決めていない 10. その他()
仕事について、うかがいます。	51	あなたは現在仕事(福祉的就労を含む)をしていますか。(1つに○印)	○	○	○	○	◎	◎	—			1. 仕事をしている 2. 仕事はしていない
	52	問■で「1. 仕事をしている」とお答えの方にうかがいます。あなたの仕事は次のどれにあてはまりますか。(1つに○印)	○	○	○	○	◎	◎	—			1. 自営業 2. 家族の営む事業の従事者 3. 会社員・公務員など 4. パート・アルバイト 5. 授産施設・就労継続支援など 6. その他()
	53	問■で「1. 仕事をしている」とお答えの方にうかがいます。あなたは1週間にどのくらい働いていますか。(1つに○印) また、働く日は1日にどのくらい働いていますか。(1つに○印)	○	○	○	○	◎	◎	—			1. 5日以上 2. 3~4日 3. 1~2日 4. その他() 1. 30分以内 2. 30分から1時間 3. 1時間から2時間 4. 2時間から4時間 5. 4時間から6時間 6. 6時間以上

大項目	番号	小項目	身体	知的	精神	難病	発達障害	高次脳機能障害	その他市民	委員意見	備考	選択肢
仕事について、うかがいます。	54	問■で「1. 仕事をしている」とお答えの方 にうかがいます。今の職場で困っていること がありますか。(3つに○印)	○	○	○	◎	◎	◎	—		難病の設問に加える	1. 仕事にやりがいがない 2. 人間的な成長が得られない 3. 仕事への適性がない 4. 仕事仲間との関係 など13項目
	55	問■で「2. 仕事はしていない」とお答えの方 にうかがいます。仕事をしていない理由 は何ですか。(1つに○印)	○	○	○	○	◎	◎	—			1. 学生だから 2. 専業主婦(夫)だから 3. 高齢者(65歳以上)だから 4. 障がい・病気などの健康上の 理由 5. 自分に合った職業・職場がない 6. 中高年なのでなかなか 採用してもらえない 7. その他()
	56	問■で「2. 仕事はしていない」とお答えの方 にうかがいます。何か適当な仕事があれば働きたい と思いますか。(1つに○印)	○	○	○	○	◎	◎	—			1. 毎日働きたい 2. 週2～3日働きたい 3. 週1日程度働きたい 4. 働きたくない 5. その他()
外出について、うかがいます。	57	あなたは一週間に何日ぐらい外出します か。(1つに○印)	○	○	○	○	◎	◎	—			1. 週に6日以上 2. 週に3～5日 3. 週に1～2日 4. 月に1～2日 5. ほとんど出かけない
	58	問■で「1～4」のいずれかをお答えの方に うかがいます。あなたが外出する目的や理由 は何ですか。(あてはまるものすべてに ○印)	○	○	○	○	◎	◎	—			1. 買い物 2. 通院 3. 仕事・通勤 4. 散歩 5. 趣味・遊び 6. 役所・銀行などへの用事 7. 交友・サークル 8. スポーツ 9. 通園・通学・通所 10. 公共施設などの利用 11. その他()
	59	外出するときには、介助をする方が必要で すか。(1つに○印)	○	○	○	○	◎	◎	—			1. 必要である 2. なれていないところでは必要 3. 必要ない
	60	問■で「5. ほとんど出かけない」とお答え の方にうかがいます。ほとんど出かけない 理由は何ですか。(3つまでに○印)	○	○	○	○	◎	◎	—			1. 障がい重い 2. 道路や階段が不便・危険 3. 乗り物の利用が困難 4. 家族に負担がかかる など10項目
	61	外出の手段についてうかがいます。(あて はまるものすべてに○印)	○	○	○	○	◎	◎	—			1. 路線バス 2. 送迎バス 3. 電車 4. 自転車・オートバイ 5. 自家用車(自分で運転) 6. 自家用車(乗せてもらう) 7. タクシー 8. リフト付き自動車 9. 徒歩 10. 車イス・電動車イス 11. その他()
62	通勤・通学や外出のとき、不便を感じるの はどんなことですか。(あてはまるものすべ てに○印)	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—		知的・精神・難病の設問に加える	1. 駅や建物に階段や段差が多い 2. エスカレーターやエレベーターがない・少ない 3. 障がい者用のトイレが少ない・使いにくい 4. 駐車場が不備・少ない 5. 駅の設備が配慮されていない など13項目

大項目	番号	小項目	身体	知的	精神	難病	発達障害	高次脳機能障害	その他市民	委員意見	備考	選択肢
余暇・社会参加・生活全般について、うかがいます。	63	あなたは自治会に加入していますか。(1つに○印)	○	○	○	○	◎	◎	—			1. 加入している 2. 加入していない
	64	あなたは、友人や仲間とともにどのような活動に参加していますか。(あてはまるものすべてに○印)	○	○	○	○	◎	◎	—			1. コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見物 2. スポーツやレジャーなどの活動 3. 知識や技術を身につける学習活動 など14項目
	65	今後はどのような活動をしたいと思いますか。(3つまでに○印)	○	○	○	○	◎	◎	—			1. コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見物 2. スポーツやレジャーなどの活動 3. 知識や技術を身につける学習活動 など14項目
	66	障がいのある人が地域や社会に積極的に参加できるようにするために、大切なことは何だと思えますか。(3つまでに○印)	○	○	○	○	◎	◎	○			1. 障がい者の方などの自主的なグループづくり、リーダー育成などの支援 2. 障がい者の方などのためのスポーツ大会・レクリエーション行事の充実 3. 障がい者の方などが参加しやすい趣味・スポーツ・教養講座の充実 など9項目
	67	市の公共施設の利用状況について、うかがいます。(1つに○印)	◎	○	◎	○	◎	◎	—		身体・精神の設問に加える	1. よく利用する 2. ときどき利用する 3. 利用しない(活動可能な内容がないことも含む)
	68	あなたが主に利用する市の公共施設は、次のどれですか。(3つまでに○印)	○	○	◎	○	◎	◎	—		精神の設問に加える 選択肢に就労訓練施設しらこぼと、児童発達支援センター、図書館、市民活動支援センターを追加	1. 市民会館(中央・北部) 2. 交流館(8館) 3. 老人福祉センター(くすのき荘・けやき荘・ゆりのき荘) 4. 障害者就労訓練施設しらこぼと など25項目
	69	市の公共施設を利用する際、どのような点が気になりますか。(3つまでに○印)	○	○	○	○	◎	◎	—			1. お金がかかる 2. 個人の利用ができない 3. 交通の便が悪い 4. 案内板がない 5. 駐車場がない(少ない) 6. 予約の方法がわからない 7. その他()
	70	あなたが悩みや困ったことを相談するのは主に誰ですか。(3つまでに○印)	○	○	○	○	◎	◎	—			1. 家族 2. 親戚 3. 近所の人 4. 友人・知人 5. 同じ障がいを持つ人 6. 障がい者の団体・家族会など 7. 職場の人 など18項目
	71	あなたは日常生活に必要な情報をどのように得ていますか。(3つまでに○印)	○	○	○	○	◎	◎	—			1. 市役所・保健センターなどの相談窓口 2. 障害者生活支援センター等 3. 地域活動支援センター 4. 社会福祉協議会 5. 病院などの医療機関 など18項目
	72	パソコンの利用状況についてうかがいます。(1つに○印)	○	○	○	○	◎	◎	—			1. 毎日利用する 2. たまに利用する 3. ほとんど利用しない 4. 全く利用しない
73	問■で「3. ほとんど利用しない」または「4. 全く利用しない」とお答えの方にうかがいます。今後、パソコンを利用したいと思いますか。(1つに○印)	○	○	○	○	◎	◎	—			1. 利用したいと思う 2. 利用したいが利用の方法がわからない 3. 利用したいと思わない 4. わからない 5. その他()	

大項目	番号	小項目	身体	知的	精神	難病	発達障害	高次脳機能障害	その他市民	委員意見	備考	選択肢
防災について、うかがいます。	74	あなたは、災害時の避難所・避難場所を知っていますか。(1つに○印)	○	○	○	○	◎	◎	—			1. 知っている 2. 知らない
	75	あなたは、火事や地震などの災害時に一人で避難できますか。(1つに○印)	○	○	○	○	◎	◎	—			1. 指示がなくてもできる 2. 避難場所への文字や音声などの誘導があればできる 3. 交通規制などでいつもの道を通れないと難しい 4. できない 5. その場にならなれないとわからない
	76	問■で「2～5」のいずれかをお答えの方にうかがいます。あなたは、災害時に誰の手助けが必要であると思いますか。(2つまでに○印)	○	○	○	○	◎	◎	—			1. 家族 2. 近所の人 3. 自治会 4. 友人・知人 など13項目
	77	あなたは、災害に備えてどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。(3つまでに○印)	○	○	○	○	◎	◎	—			1. 災害時の心得や地震に関する知識の普及 2. 緊急情報の提供体制の確立 3. 障がい者が避難するための地域ぐるみの協力体制の確立 4. 災害が発生したときの迅速な避難誘導體制の確立 5. 障がい者のための避難訓練の実施 6. その他() 7. 特になし 8. わからない
	78	災害時要援護者避難支援制度についてうかがいます。(1つに○印)	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆		モデル地区で実施していた制度を全市展開することとなったため設問に加える
暮らし方について、うかがいます。	79	あなたは今後どのように生活したいと思いますか。(1つに○印)	○	○	○	○	◎	◎	—			1. ひとり暮らし 2. 介助を受けてのひとり暮らし 3. 家族と同居 4. 仲間・友人などと共同生活 5. 施設ではなく、グループホームや生活ホーム(4～5人の仲間と一緒に食事や身の回りの世話をする人のいる生活の場)で、一緒に暮らしたい 6. 施設などに入所したい 7. わからない 8. その他()
	80	あなたが問■で選んだ生活をしようとするとき、何が問題になりますか。(あてはまるものすべてに○印)	○	○	○	○	◎	◎	—			1. 生活を支援してくれる人がいない 2. 一緒に住む仲間がいない 3. 施設に関する情報がない 4. 家賃を払うだけの収入がない 5. 家族が反対する 6. その他() 7. 特に問題はない
	81	問■で「6. 施設などに入所したい」とお答えの方にうかがいます。なぜ、施設に入所したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)	○	○	◎	◎	◎	◎	—		「なぜ」と本人に聞くのはおかしいのではないか(施策推進協議会委員) 知的障がい者のアンケートを家族・支援者が書く場合に本人・家族・支援者で思っていることが違ってくるのではないかと(施策推進協議会委員)	入所を希望する理由の調査に必要な入所対象者への設問のため、精神・難病の設問に加える 知的障がい者の回答について、本人の意見なのか、家族・支援員の意見なのかははっきりさせた方がよいのではないかという意見があったが、対応は難しい 基本的には本人が回答することとしており、回答できない場合に家族・支援員が答えることにしている

大項目	番号	小項目	身体	知的	精神	難病	発達障害	高次脳機能障害	その他市民	委員意見	備考	選択肢	
家庭内でご本人の介助をしている方に、うかがいます。	82	あなたの年齢をお答えください。(平成26年4月1日現在)	○	○	◎	○	◎	◎	—	精神にも質問したほうがいいのではないか(施策推進協議会委員)	精神の設問に加える	1. 20歳未満 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～64歳 7. 65歳以上	
	83	あなたの健康状態はいかがですか。(1つに○印)	○	○	◎	○	◎	◎	—	精神にも質問したほうがいいのではないか(施策推進協議会委員)	精神の設問に加える	1. 健康である 2. 今は病弱ではないが健康に不安 3. 病弱であり健康に不安 4. 通院している	
	84	あなたは仕事をお持ちですか。(1つに○印)	○	○	◎	○	◎	◎	—	精神にも質問したほうがいいのではないか(施策推進協議会委員)	精神の設問に加える	1. 仕事を持っている 2. 働いていない 3. 働きたいが、介助のために働きに出られない	
	85	介助する上で、特に大変なことは何ですか。(あてはまるものすべてに○印)	○	○	◎	○	◎	◎	—	精神にも質問したほうがいいのではないか(施策推進協議会委員)	精神の設問に加える	1. 食事の介助 2. トイレの介助 3. おむつの交換 4. 入浴の介助 5. 着替えの介助 6. 衛生管理 など19項目	
	86	介助する上で、悩みや問題がありますか。(あてはまるものすべてに○印)	○	○	◎	○	◎	◎	—	精神にも質問したほうがいいのではないか(施策推進協議会委員)	精神の設問に加える	1. 自分の時間がもてない 2. 体力的にきつい 3. 精神的に疲れる 4. 他に介助者がいない 5. 経済的な負担が大きい など11項目	
	87	以下のようなことをしたことがありますか？(あてはまるものすべてに○印)	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆		障害者虐待防止法関連の設問として加える	1 (身体的虐待)叩いたり、殴ったり、または傷つけたこと。 2 (心理的虐待)罵ったり、罵倒したり、暴言を吐いたこと。 3 (ネグレクト)食事を与えなかったり、排泄物の処理をしなかったり、長いこと相手にしなかったりしたこと。 4 (経済的虐待)本人のお金を勝手に使ったり、取り上げたりしたこと。 5 (性的虐待)本人の同意を得ずにわいせつな行為をしたり、強制させたりしたこと。
	88	問■であると回答された方にうかがいます。それはどのような場所でありましたか？	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆		障害者虐待防止法関連の設問として加える	1 自宅・家庭 2 職場 3 病院 4 福祉施設 5 学校 6 その他()
	89	それらの行為をしたのはなぜだと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆		障害者虐待防止法関連の設問として加える	1 しつけの一環として行った。 2 介護などで身体的に疲れていた。 3 介護などで精神的に疲れていた。 4 介護・支援の知識不足から他に手立てがなかった。 5 経済的な理由などで福祉サービスを受ける事ができなかった。 6 その他()
	90	問■の行為は虐待に当たると思いますか？	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆		障害者虐待防止法関連の設問として加える	1 虐待である。 2 虐待ではない。 3 分からない。

大項目	番号	小項目	身体	知的	精神	難病	発達障害	高次脳機能障害	その他市民	委員意見	備考	選択肢
障がい者の権利擁護について、うかがいます	91	障がいを理由に虐待されたことがありますか？	☆	☆	☆	☆	☆	☆	—		障害者虐待防止法関連の設問として加える	1ある 2ない
	92	問■であると回答された方にうかがいます。それはどのような場所でありましたか？	☆	☆	☆	☆	☆	☆	—		障害者虐待防止法関連の設問として加える	1自宅・家庭 2職場 3病院 4福祉施設 5学校 6その他()
	93	問■であると回答された方にうかがいます。それはどのようなものですか？	☆	☆	☆	☆	☆	☆	—		障害者虐待防止法関連の設問として加える	1 (身体的虐待)叩かれたり、殴られたり、または傷つけられたこと。 2 (心理的虐待)罵られたり、罵倒されたり、暴言を吐かれたこと。 3 (ネグレクト)食事を与えられなかったり、排泄物の処理をされなかったり、長いこと相手にされなかったこと。 4 (経済的虐待)お金を勝手に使われたり、取り上げられたこと。 5 (性的虐待)同意もなくわいせつな行為をされたり、強制させられたこと。 6 その他()
	94	障がい者が虐待されているところをみたことがありますか？	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆		障害者虐待防止法関連の設問として加える	1ある 2ない
	95	問■であると回答された方にうかがいます。それはどのような場所でありましたか？	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆		障害者虐待防止法関連の設問として加える	1自宅・家庭 2職場 3病院 4福祉施設 5学校 6その他()
	96	問■であると回答された方にうかがいます。それはどのようなものですか？	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆		障害者虐待防止法関連の設問として加える	1 (身体的虐待)叩かれたり、殴られたり、または傷つけられるところ。 2 (心理的虐待)罵られたり、罵倒されたり、暴言を吐かれるところ。 3 (ネグレクト)食事を与えられなかったり、排泄物の処理をされなかったり、長いこと相手にされなかいでいるところ。 4 (経済的虐待)お金を勝手に使われたり、取り上げられるところ。 5 (性的虐待)同意もなくわいせつな行為をされたり、強制させられたところ。 6 その他()
	97	障がい者への虐待をなくすために必要なことはなんだと思いますか？	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆		障害者虐待防止法関連の設問として加える	1 介護者・支援者に対するケア 2 虐待を受けている人が相談しやすい体制づくり 3 地域社会でのみまもり 4 障がいの特性や虐待についての知識の啓発 5 その他()
	98	差別や偏見、疎外感を感じることはありますか？	☆	☆	☆	☆	☆	☆	—		障害者差別解消法関連の設問として加える	1よくある 2たまにある 3ほとんどない 4ない
	99	問■であると回答された方にうかがいます。それはどのようなものですか？	☆	☆	☆	☆	☆	☆	—		障害者差別解消法関連の設問として加える	1教育の場 2仕事や収入面 3コミュニケーションなど12項目
	100	障がい者への差別をなくすために必要なことはなんだと思いますか？	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆		障害者差別解消法関連の設問として加える	1差別に対する法律の整備 2行政による啓蒙活動 3地域社会での取り組み 4障がいに関する教育の充実 5その他()

大項目	番号	小項目	身体	知的	精神	難病	発達障害	高次脳機能障害	その他市民	委員意見	備考	選択肢
障がい者の権利擁護について、うかがいます	101	あなたは、成年後見制度を知っていますか。(1つに○印) 成年後見制度とは、精神障がい、知的障がいなどの理由で判断能力が不十分な方が、財産管理や日常生活での契約を行うときに不利益を被ったり、悪質商法の被害者となることなどを防ぐため、本人に代わり後見人等が各種の手続きを行い、本人の権利と財産を守る法律的な支援制度です。	—	○	○	—	◎	◎	—	成年後見制度について同じような項目をまとめたほうがよいのではないかと(施策推進協議会委員)	項目ごとに調査を行いたいため、まとめずに調査を行う	1. 制度内容も含めよく知っている 2. 詳細内容は知らないが、概要は知っている 3. 制度名称は程度は知っている 4. はじめて知った
	102	あなたはこの制度を利用しようと思えますか。	—	○	○	—	◎	◎	—	成年後見制度について同じような項目をまとめたほうがよいのではないかと(施策推進協議会委員)	項目ごとに調査を行いたいため、まとめずに調査を行う	1. 利用する 2. 利用しない 3. わからない
	103	問■「1」とお答えの方にうかがいます。後見人等にはどのような方が適当だと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)	—	○	○	—	◎	◎	—	成年後見制度について同じような項目をまとめたほうがよいのではないかと(施策推進協議会委員)	項目ごとに調査を行いたいため、まとめずに調査を行う	1. 家族・親族 2. 友人・知人 3. 弁護士・司法書士・社会福祉士などの専門家 4. 公的な機関 5. その他()
	104	成年後見制度を利用しやすくするために、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)	—	×	×	—	—	—	—		成年後見センター事業の設計に関する設問のため、削除	1. 情報提供・普及啓発の充実 2. 身近な相談場所の確保 3. 手続きの簡略化 4. 費用負担が少ないこと 5. その他()
	105	成年後見センターこしがやについてお答えください。(1つに○印)	—	○	○	—	◎	◎	—		成年後見センターこしがやの認知度を図る設問として追加	1 利用したことがある。 2 利用したことはないが、知っている。 3 知らなかった。
障がい者施策について、うかがいます。	106	障害福祉サービス事業所等(生産品や役務を提供している事業所)の利用者の工賃アップのために必要なことは何だと思いますか?(あてはまるものすべてに○印)	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆		障害者優先調達推進法関連についての設問として追加	1 魅力的な生産品の作成 2 継続的・安定的な生産量 3 販路の拡大 4 市民等への情報提供 5 公的機関・民間企業からの発注の拡大 6 その他()
	107	あなたは、障がいのある人が暮らしやすいまちをつくるために、今後、越谷市ではどのようなことが重要だと考えますか。(5つまでに○印)	○	○	○	○	◎	◎	◎			1. 障がいの予防・早期発見・保健指導体制の充実 2. 障がい児保育・障がい児教育の充実 3. 障がい児学童保育の充実 など20項目
	108	市へのご意見・ご提案がありましたらお書きください。	○	○	○	○	◎	◎	○			自由記入
障がい者施策に対する意識についてうかがいます。	109	あなたは、障がい者施策に関心がありますか。(1つに○印)	—	—	—	—	—	—	○	障がい者の設問にも加えた方がよいのではないかと(施策推進協議会委員)	障がい者施策の認知度を測ることを主目的としているため、その他市民のみの質問とする	1. ある 2. 少しある 8. 特に考えたことがない
	110	あなたは、国の定めにより12月3日から12月9日までの1週間が「障害者週間」であることを知っていますか。(1つに○印) 「障害者週間」は、障害者基本法に定められています。	—	—	—	—	—	—	○			1. 知っている 2. 知らなかった

大項目	番号	小項目	身体	知的	精神	難病	発達障害	高次脳機能障害	その他市民	委員意見	備考	選択肢
障がい者施策に対する意識についてうかがいます。	111	あなたは、「障害者の日記念事業ふれあいの日」を知っていますか？（1つに○印） ふれあいの日とは：毎年6月第1日曜日に中央市民会館にて、福祉団体によるコンサートや活動内容の発表及び模擬店の出店などを行い障がい者福祉に対する理解を促進する行事です。	—	—	—	—	—	—	☆		ふれあいの日の認知度を計るための設問として追加	1 行事に参加したことがある。 2 行事に参加したことはないが、知っている。 3 知らなかった。
	112	あなたは、障がいのある方を対象としたボランティア活動に関心がありますか。（1つに○印）	—	—	—	—	—	—	○			1. ある 2. 少しある 3. 特に考えたことがない
	113	あなたは、“ノーマライゼーション”という言葉を知っていますか。（1つに○印） ノーマライゼーションとは、障がいのある人も、障がいのない人と同じように、ともに地域の中で普通の生活をしていくことができる社会にすべきという考え方をいいます。	—	—	—	—	—	—	○	難しい質問だと思う(施策推進協議会委員)	障がい者施策の認知度を測ることを目的としている難解な単語には説明をつける	1. ある 2. 少しある 3. 特に考えたことがない
	114	問■で「1. 知っている」とお答えの方にはうかがいます。あなたは、ノーマライゼーションの考え方が広がってきたと思いますか。（1つに○印）	—	—	—	—	—	—	○	難しい質問だと思う(施策推進協議会委員)	障がい者施策の認知度を測ることを目的としている難解な単語には説明をつける	1. 広がった 2. 少し広がった 3. あまり広がっていない 4. 広がっていない 5. わからない
	番号	あなたは、“ユニバーサルデザイン”という言葉を知っていますか。（1つに○印） 障がいをもつ人・もたない人の別はなく、すべての人にとって使い易い形や機能が配慮されたデザインのことをいいます。すべての人にとって使い易いものは、障がいを持つ人にも使いやすいという考え方で設計するので、もともとのデザイン自体が特に障がい・障壁を感じさせないつくりになっています。 例：レバー式の水道の蛇口など	—	—	—	—	—	—	○	難しい質問だと思う(施策推進協議会委員)	障がい者施策の認知度を測ることを目的としている難解な単語には説明をつける	1. 知っている 2. 言葉だけは知っている 3. 知らなかった
障がい者施策に対する意識についてうかがいます。	116	問■で「1. 知っている」とお答えの方にはうかがいます。あなたは、あなたの周辺におけるユニバーサルデザインの普及についてどのように思いますか。（1つに○印）	—	—	—	—	—	—	○	難しい質問だと思う(施策推進協議会委員)	障がい者施策の認知度を測ることを目的としている難解な単語には説明をつける	1. 普及している 2. 少し普及している 3. あまり普及していない 4. 普及していない 5. わからない
	117	あなたは“バリアフリー”という言葉の意味を知っていますか。（1つに○印） バリアフリーとは、障がいのある人が社会生活を送っていく上でバリア（障壁）となるものを除去するという意味で、そのバリアとは物理的障壁（道路・建物・交通機関等）、制度的障壁（資格制度・入学試験・就労等）、文化・情報の障壁（音声・郵便等）、意識上の障壁（偏見・差別の容認・人権への無関心等）を意味するものです。	—	—	—	—	—	—	○	難しい質問だと思う(施策推進協議会委員)	障がい者施策の認知度を測ることを目的としている難解な単語には説明をつける	1. 知っている 2. 高齢者や障がい者に対応した施設の整備・改修のみを意味すると思っていた 3. 知らなかった
	118	問■で「1. 知っている」とお答えの方にはうかがいます。あなたは、バリアフリー化の進展についてどのように思いますか。（1つに○印）	—	—	—	—	—	—	○	難しい質問だと思う(施策推進協議会委員)	障がい者施策の認知度を測ることを目的としている難解な単語には説明をつける	1. 進展している 2. 少し進展している 3. あまり進展していない 4. 進展していない 5. わからない
	119	あなたは、“インクルージョン”という言葉を知っていますか。（1つに○印） インクルージョンとは、障がい者が社会や学校で健常者と共に活動したり学んだりできるようにしようという考え方をいいます。	—	—	—	—	—	—	○	難しい質問だと思う(施策推進協議会委員)	障がい者施策の認知度を測ることを目的としている難解な単語には説明をつける	1. 知っている 2. 言葉だけは知っている 3. 知らなかった

大項目	番号	小項目	身体	知的	精神	難病	発達障害	高次脳機能障害	その他市民	委員意見	備考	選択肢
障がい者施策に対する意識についてうかがいます。	120	あなたは、障がいのある子どもが学校の普通学級に通うことについて、どのような配慮が必要だと思いますか。(1つに○印)	—	—	—	—	—	—	○	難しい質問だと思う(施策推進協議会委員)	障がい者施策の認知度を測ることを目的としている難解な単語には説明をつける	1. 学校の施設・設備 2. 学校の指導体制 3. 周囲の理解 4. 通学手段 5. その他()
	121	あなたは、ノーマライゼーション、ユニバーサルデザイン、バリアフリー、インクルージョンを広げていく(又は、さらに広げていく)ためには、どのようなことが必要だと思いますか。	—	—	—	—	—	—	○	難しい質問だと思う(施策推進協議会委員)	障がい者施策の認知度を測ることを目的としている難解な単語には説明をつける	自由記入
相談や情報の入手についてうかがいます。	122	あなたは保健・福祉について、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。(3つまでに○印)	—	—	—	—	—	—	○			1. 家族・親戚 2. 友人・知人 3. 職場の人 4. 学校の先生 5. 医師・看護師など 6. その他()
	123	あなたは、保健・福祉に関する情報をどのようなところから得ていますか。(3つまでに○印)	—	—	—	—	—	—	○			1. 医療機関 2. 民生委員・児童委員 3. 保健所 4. 市の相談窓口 5. 社会福祉協議会 6. 市広報紙などのお知らせ 7. 地域の回覧板・掲示板 8. インターネット 9. テレビ・ラジオ・新聞 10. その他()
福祉のまちづくりについてうかがいます。	124	越谷市は障がいのある人にとって暮らしやすいまちだと思いますか。(1つに○印)	—	—	—	—	—	—	○			1. とても暮らしやすい 2. まあまあ暮らしやすい 3. あまり暮らしやすい 4. わからない・何ともいえない
	125	あなたは障がいのある人が暮らしやすいまちをつくるために、今後越谷市において、どのようなことが重要だと考えますか。(5つまでに○印)	—	—	—	—	—	—	○			1. 障がいの予防・早期発見・保健指導体制の充実 2. 障がい児保育・障がい児教育の充実 3. 障がい児学童保育の充実 4. その他()
地域で取りくむ福祉についてうかがいます。	126	あなたは、障がいのある人もない人もともに暮らせる地域を形成していくためには、どのような仕組み(組織)が必要だと思いますか。(1つに○印)	—	—	—	—	—	—	○			1. 自治会単位の組織 2. 小・中学校区の組織 3. 地区センター・公民館単位の組織 4. その他()
	127	あなたは、地域で福祉ボランティア活動を実践するために、必要な拠点はどこが望ましいと思いますか。(1つに○印)	—	—	—	—	—	—	○			1. 自治会集会所 2. 地区センター・公民館 3. 他の公共施設 4. その他()
	128	あなたは、地域で組織されている「地区コミュニティ推進協議会」を知っていますか。(1つに○印)	—	—	—	—	—	—	○			1. 知っている 2. 知らない
	129	あなたは、地域で行われている福祉関係の行事に参加したことがありますか。(1つに○印)	—	—	—	—	—	—	○			1. 参加したことがある 2. 参加したことがない
	130	問■で「1. 参加したことがある」とお答えの方にうかがいます。それはどんな行事ですか。(1つに○印)	—	—	—	—	—	—	○			1. 配食サービス 2. 敬老会 3. ウォーキング(三世代交流) 4. グラウンドゴルフ(三世代交流) 5. 食事会(三世代交流) 6. ふれあいの集い(昔の遊び体験など) 7. その他()
あなたと、地域や福祉との関わりについてうかがいます。	131	地域活動への参加について、あなたの、過去の参加体験、現在参加していること、今後参加してみたいことをお答えください。(それぞれ該当する欄に○印)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	なぜ、全員に聞かないのか(障害者がボランティアをしていることもある)(施策推進協議会)	障がい者を対象とした質問に加える	過去に経験あり 現在している 今後したい 1. 団体活動の指導 2. スポーツクラブ・サークルへの参加 3. 自治会・老人クラブなどの地域活動 4. PTAや子ども会活動 5. その他()
		問■で「5」について「過去に経験有り」「現在している」又は「今後したい」に○印をつけた方にうかがいます。具体的にどのような活動です(でした)か。(それぞれ該当する欄に○印)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	なぜ、全員に聞かないのか(障害者がボランティアをしていることもある)(施策推進協議会)	障がい者を対象とした質問に加える	過去に経験有り 現在している 今後したい 1. 声かけや見守り・安否確認 2. 話し相手 3. 外出の付き添いや送迎 4. その他()

第4期越谷市障がい福祉計画・第4次越谷市障がい者計画の策定に係るアンケート調査 設問(案)一覧(事業所用)

大項目	番号	小項目	委員意見	備考	選択肢
貴事業所についてうかがいます。	1	平成26年4月末日現在の貴事業所についてご記入ください。			<質問項目> 事業所名 所在地 電話番号 代表者名 記入者名 事業所の設立年月日 運営主体 (該当する番号1つに○をつけてください。) 1 社会福祉法人 2 社団・財団法人 3 特定非営利活動法人(NPO) 4 医療法人 5 市町村 6 その他
	2	平成26年4月現在、貴事業所が取り扱っているサービスの提供内容、または今後提供予定のあるサービスについてご記入ください。			<質問項目> ①現在提供中、または提供予定のサービス定員、または提供可能人数 ②開所日1日あたりの平均利用人数(平成26年4月の実績で算出) ③移行時期(実施、または予定時期) <サービスの名称> 居宅介護(ホームヘルプ) 重度訪問介護 行動援護 同行援護 重度障害者等包括支援 短期入所(ショートステイ) 療養介護 生活介護 施設入所支援 自立訓練(機能訓練) 自立訓練(生活訓練) 就労移行支援 就労継続支援(A型) 就労継続支援(B型) 指定特定相談支援 指定一般相談支援 共同生活援助(グループホーム) 生活ホーム 生活サポート 日中一時支援 移動支援 訪問入浴 地域活動支援センター その他(具体的に、サービス名をご記入ください)
	3	貴事業所の地域社会における役割について、貴事業所の考えをご記入ください。(該当する番号すべてに○をつけてください。)			1 一般企業等への移行支援 2 文化芸術的・創作的な活動 3 就労への体力づくり等の準備を行う場所 4 社会生活を送る際の生活訓練など15項目
	4	現在、事業運営について課題となっていることは何ですか。			1 収入は増加(安定)しているが、配置すべき人材が確保できない 2 収入が少なく、運営が厳しい 3 利用者の退所や利用抑制がある 4 事務量が多く、職員の負担が大きい 5 事務量が多く、利用者への支援の時間が少ない 6 日額払いのため、利用者確保をしなくてはならない 7 工賃確保のための事業拡大・新規事業の立ち上げ 8 特にない 9 その他(具体的に:) (該当する番号すべてに○をつけてください。)
	5	第三者評価の導入の予定はありますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)また、「4 導入の予定はない」を回答された場合は、その理由をお聞かせください。 ※第三者評価とは: 福祉機関や関連する機関が提供する福祉・介護サービスなどの質が適切なものかどうかについて、機関内部で判断するのではなく、機関外の第三者によって行われる評価をいいます。			1 導入している 2 導入の予定が決定している 3 導入を検討している 4 導入の予定はない 導入の予定がない理由:
	6	災害時における障がい者の受け入れについてお答えください。(1つに○印)		災害対策についての設問として追加	1 受け入れを考えている。 2 利用者の受け入れは考えている。 3 災害時の受け入れは特殊であるため、受け入れは考えていない。

大項目	番号	小項目	委員意見	備考	選択肢
職員・支援員についてうかがいます。	7	職員・支援員の障がいに対する理解度に対する考えをお答えください。(あてはまるもの1つに○印)	施設の職員・支援員は障がいを理解しているか(施策推進協議会委員意見より)	設問を追加	1 障がいに対して十分に理解がある。 2 十分であるとはいえないが、理解がある。 3 障がいに対する理解に足りない部分がある。 4 障がいに対する理解がほとんどない。 5 全くない。
障がい者の権利擁護についてうかがいます。	8	虐待(疑いを含む)をうけているところをみたことがありますか。(1つに○印)		障害者虐待防止法関連の設問として追加	1 ある 2 ない
	9	問■であると答えた方にうかがいます。その虐待はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○印)		障害者虐待防止法関連の設問として追加	1 (身体的虐待)叩かれたり、殴られたり、または傷つけられるところ。 2 (心理的虐待)罵られたり、罵倒されたり、暴言を吐かれるところ。 3 (ネグレクト)食事を与えられなかったり、排泄物の処理をされなかったり、長いこと相手にされなかいでいるところ。 4 (経済的虐待)お金を勝手に使われたり、取り上げられるところ。 5 (性的虐待)同意もなくわいせつな行為をされたり、強制させられたところ。 6 その他()
	10	虐待をなくすために必要なことはなんでしょうか。(あてはまるものすべてに○印)		障害者虐待防止法関連の設問として追加	1 介護者・支援者に対するケア 2 虐待を受けている人が相談しやすい体制づくり 3 地域社会でのみまもり 4 障がいの特性や虐待についての知識の啓発 5 その他()
障害者優先調達推進法についてうかがいます。	11	物品・役務の提供を行っている事業所にうかがいます。障害者優先調達推進法の施行に伴う変化はありましたか。 ※ 障害者優先調達推進法とは:障害者就労施設で就労する障害者や在宅で就業する障害者の経済面の自立を進めるため、国や地方公共団体、独立行政法人などの公機関が、物品やサービスを調達する際、障害者就労施設等から優先的・積極的に購入することを推進する制度。		障害者優先調達推進法関連の設問として追加	1 公的機関からの注文が増えた。 2 民間企業からの注文が増えた。 3 今のところ変化なし。 4 その他()
	12	障害福祉サービス事業所等(生産品や役務を提供している事業所)の利用者の工賃アップのために必要なことは何だと思えますか?(あてはまるものすべてに○印)		障害者優先調達推進法関連の設問として追加	1 魅力的な生産品の作成 2 継続的・安定的な生産量 3 販路の拡大 4 市民等への情報提供 5 公的機関・民間企業からの発注の拡大 6 その他()
その他	13	サービスを提供するにあたって、市に望むことは何ですか。(該当する番号すべてに○をつけてください。)			1 行政との情報共有 2 同じようなサービスを提供する事業所との連携 3 事業運営に必要な情報提供 4 地域の障がい者団体との交流の機会 5 障がい者福祉に対する市民理解を得るための周知、啓発 6 イベント等の周知の協力 7 その他(具体的に:)
	14	市の障がい福祉行政へのご意見や当調査のその他の回答欄が十分でなかった等ございましたら、以下にご自由にご記入ください。			自由記入